

◆『経済倶楽部講演録』

バックナンバーのご案内

＊6月号 西野純也「韓国総選挙とこれからの日韓関係」 趙璋琳「中国ビジネスの新潮流」 小黒一正「医療等社会保障財政の現状と課題」 山口二郎「自民党の危機と民主政治の行方」

＊5月号 長尾年恭「令和6年能登半島地震の衝撃」 飯尾潤「自民党の危機と日本政治」 唐鎌大輔「強い円」はどうして失われたのか」 前嶋和弘「アメリカ大統領選挙と世界、そして日本」

＊4月号 富坂聰「中国式外交」の影響力拡大」 小川聡「今年1年の政局展望」 窪谷浩「財政状況を踏まえた米国経済の現状と展望」 石坂友貴「生成AI：地政学で変わる半導体」

【編集後記】

IMF統計による日本のインフレ率は2020年がマイナス0・03%、21年がマイナス0・24%でしたが、22年が2・50%、23年が3・27%そして推計値で24年が2・24%で、22年から24年までの3年間で8%のインフレでこの先もさらに同程度のインフレが続くとされています。BNPパリバ証券チーフエコノミストの河野龍太郎氏は政治家は国民に不人気な消費増税をなかなか口に出出来ないが、実はインフレタックスがもう始まっていると指摘。これによって国の公的債務が減少することはいいとしても、家計の方は実質賃金の値下がりやと預貯金の目減りに頭を悩ませることになりそうです。

次号は渡部恒雄氏「バイデン外交と大統領選挙の行方」、小幡績氏「新しい現実 22世紀へ向けての経済・金融市場・金融政策・中央銀行」、佐藤千矢子氏「どうなる岸田政権―課題と展望―」を掲載予定です。

東洋経済 **経済倶楽部講演録** (2024年7月号)

2024(令和6)年7月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 田北浩章 編集人 山縣裕一郎

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 港北メディアサービス

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉